

校長室だより



令和5年7月14日

No.9

あら？久しぶり。っていうか、まだやってたの？もうやめたのかと思って安心していたのに…と思われた方も多いかもかもしれません。前回、校長室だよりを出したのが6月12日でしたから、ほぼ一か月ぶりになります。梅雨の盛りから夏になってしまいました。

ずいぶんさぼっていた？いえ、実はなんと目の病気が発覚し、50年ぶりの手術、入院という事態になって、しばらくお休みをいただいていた。（ああ、そう言えば、最近、校長の姿を見なかった…それも気づかなかった？）6月のはじめ頃から、なんだか右目のすみにときどき黒い影が見えるようになり、「目が疲れたかな…」とか思っていました。が、だんだんその影が大きくなって、常時見える…つまり、目で見て見えない部分が大きくなったということ。しかも、黒だけじゃなく、赤や黄色の色も入ったりして、さすがにこれは…ということで、かかりつけの眼科クリニック経由で総合病院に行ったのが6月19日。診察の結果は「網膜剥離」という病気で、目の中にある、画像を処理する網膜に穴が開いてはがれてきている状態で、放っておけば失明…ということで、凶らずもその日のうちに緊急手術、そのまま入院ということになってしまいました。

入院、手術ということが個人的に約50年ぶり（高校生の時に盲腸で入院して以来）です。目の手術ということが初めての経験なのでさすがに気持ちの動揺がありましたが、それと同時に学校のことや仕事をどうしようかということも大きな気がかりに。副校長先生や関係の方などに電話をお願いをしたりしているうちに、すぐに手術開始。局所麻酔で2時間ほど？モニターの音がリズムカルでつい眠気が…そのたびにドクターから「動かないで！」と叱られてしまいましたが無事終了。特に問題なく、術後の痛みなどもなかったのですが、実はこれからが大変。簡単に言うと、目の中にガスを入れてその力ではがれた網膜を戻すということらしく、ベッド上で安静が基本なのはもちろん、ガスの力を効果的に使うためにずっとうつぶせの状態でご過ごすようにとの指示。術後3日ほどはともかく昼も夜もうつぶせ。その後、別の姿勢も可となりましたが、基本は安静（何回か「売店に行きたい」と訴えましたが却下されました）。副校長先生からのメールで学校の様子を確認しながら病室閉じこもりの日々が2週間ほどになってしまいました。副校長先生はじめ先生たちのご努力で学校が順調であることを本当にうれしく思いつつ、子どもたちの顔を思い浮かべながら早く戻りたい気持ちでいっぱいでした。退院後も自宅で基本は安静にしながら回復を待つということで少しお時間をいただきましたが、ようやく今週水曜日から学校に戻れました。ほっとしたというのが正直な思いですが貴重な経験でもありました。

校長が何週間も不在という異常事態を作ってしまったことを深くお詫び申し上げますとともに、その間、教育活動や学校運営にご協力いただきましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。復帰後もなお一層よりよい学校作りに力を尽くしていく所存でございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

こういう眼帯をしていました



